

公立浜坂病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ 一般病床を有する公立病院として、町民が安心して受診できる総合診療に取り組むとともに、近隣の医療機関との機能分化と診療連携の強化を図り、回復期治療機能を担う。
- ・ 地域包括ケア病床の導入等による転院・退院支援体制の強化を図るとともに、現行の訪問診療に加えて訪問看護・訪問リハビリ体制の整備、レスパイト入院の積極的な活用による在宅医療支援機能を担う。
- ・ 地域巡回による健康講座及び院内糖尿病教室の開催等、予防医療の推進を担う。
- ・ 医療及び介護等の関連機関との連携強化による地域包括ケアシステムの推進

② 今後持つべき病床機能

- ・ 急性期治療を経過した患者に対する医療やリハビリテーションを提供する回復期機能
- ・ 地域包括ケア病床の活用による在宅復帰支援機能
- ・ レスパイト入院の活用による在宅介護の支援機能

③ その他見直すべき点

- ・ 地域包括ケア病床の効率的活用による病床利用率の改善等、抜本的な経営改善

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

| | 現在 (平成28年度病床機能報告) | | 将来 (2025年度) |
|-------|----------------------|---|----------------|
| 高度急性期 | | → | |
| 急性期 | | | |
| 回復期 | 55 | | 49 |
| 慢性期 | | | |
| (合計) | | | |

<年次スケジュール>

| | 取組内容 | 到達目標 | (参考) 関連施策等 |
|-------------|-------------------------------|-------------------|---------------|
| 2017年度 | 地域包括ケア病床導入に伴う施設基準適合に向けた病床数の変更 | 6床削減 (55床⇒49床) | |
| 2018年度 | 訪問看護、訪問リハビリの検討 | 2018年度の稼働 | |
| 2019～2020年度 | | | |
| 2021～2023年度 | | | |

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

| | 現在 (本プラン策定時点) | | 将来 (2025年度) |
|-------|------------------|---|----------------|
| 維持 | | → | |
| 新設 | | → | |
| 廃止 | 麻酔科 | → | |
| 変更・統合 | | → | |

③ その他の数値目標について

| |
|---|
| <p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率： 平成32年度目標 81.8% ・ 手術室稼働率： ・ 紹介率： ・ 逆紹介率 <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率： 平成32年度目標 61.8% ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： <p>その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> 経常収支比率 平成32年度目標 87.4% 医業収支比率 平成32年度目標 81.8% |
|---|

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)